

SHAREHOLDERS INFORMATION / SHAREHOLDERS MEMO

(2015年9月30日現在)

株式状況

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 19,900,000株 |
| 発行済株式総数 | 11,960,000株 |
| 株主数 | 8,147名 |

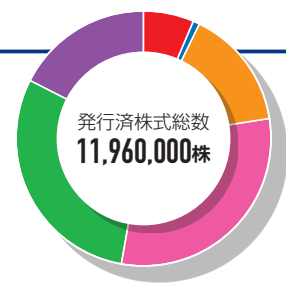
大株主(上位10名)

| 株主名 | 所有株式数(株) | 持株比率(%) |
|---|-----------|---------|
| 平澤 創 | 4,752,260 | 48.14 |
| BNYM TREATY DTT 15 | 472,970 | 4.79 |
| MSCO CUSTOMER SECURITIES | 450,000 | 4.55 |
| BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) | 310,580 | 3.14 |
| 吉本興業株式会社 | 206,870 | 2.09 |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 135,000 | 1.36 |
| BNY FOR GCM CLIENT ACCOUNTS (E) BD | 127,451 | 1.29 |
| CBNY-NATIONAL FINANCIAL SERVICES LLC | 121,350 | 1.22 |
| 田中 治雄 | 115,000 | 1.16 |
| 大阪中小企業投資育成株式会社 | 98,000 | 0.99 |

※当社は自己株式(2,089,920株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 ※持株比率は自己株式を控除して計算しています。
 ※持株比率は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

所有者別分布状況(%)

| 所有者別 | 構成比 |
|--------|-------|
| 金融機関 | 6.48 |
| 証券会社 | 0.76 |
| 外国法人等 | 15.38 |
| その他法人 | 30.30 |
| 個人・その他 | 29.60 |
| 自己名義株式 | 17.47 |



※発行済株式総数11,960,000株の構成比率です。
 ※構成比の表示単位未満の端数は、四捨五入して表示しています。

株主メモ

| | |
|------------------------|-----------------|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |

三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部
 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
 電話 0120-094-777 (通話料無料)

同連絡先

電子公告
<http://www.faith.co.jp/ir/koukoku/>
 ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

公告方法

お知らせ

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用いただけます。(株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引先の口座管理機関(証券会社等)へお問合わせください。)

免責事項

本報告書に記載されている将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。
 本報告書に記載している会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



株式会社フェイス

〒604-8171 京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町566-1 井門明治安田生命ビル
<http://www.faith.co.jp/>
 お問い合わせ先 TEL.075-213-3933 FAX.075-213-3833

ウェブサイトのご案内
 フェイス・グループ各社のサービスや注目のコンテンツ情報、最新トピックス等を掲載しています。
<http://www.faith.co.jp/>

facebookフェイス公式ページのご案内
 フェイス・グループのニュースリリース、最新コンテンツ情報などを随時更新しています。
<http://www.facebook.com/faith.jp/>



MUSIC



Faith to Face
 いい顔に逢いたくて。



LIFE



EDUCATION



ENTERTAINMENT



Semi Annual Report

2015.4.1 - 2015.9.30

株式会社フェイス | 第24期上半期 営業のご報告



トップメッセージ

「あるものを追うな、ないものを創れ。」 次代にふさわしい日本初・世界初の プラットフォーム創出へ

音楽配信に流通革命を起こす プラットフォームの創出へ

2015年は、遂に日本もサブスクリプション元年を迎えたと言われるほど、様々な定額音楽配信サービスが華々しく立ち上がりました。しかし、思惑通りの結果は得られていないようで、無料で音楽を聴くことに慣れてしまっている、また、例え何千曲を定額で聴いても好きなアーティスト以外に対価を支払う人は少ない、ということを示す結果となりました。

世界的には、再生数の多い人気アーティストが、楽曲に対する対価の分配に疑問を呈し、全楽曲を引き上げてしまったというニュースも話題を呼びました。

当社グループは、早い段階から「マルチデバイス×マルチコンテンツによる新しい配信プラットフォーム」の創造を標榜し、様々な取り組みに挑戦していますが、「すでにデジタル配信プラットフォームは産業構造として確立されている」とい

う声も聞かれます。しかし、今あるサービスは、レコード会社から音楽を仕入れて販売する旧態の仕組みをそのままデジタルに置き換えたにすぎません。

我々が目指すのは、産業構造そのものが変わる可能性のある、このチャンスに、流通革命を起こすプラットフォームを創出することに他なりません。

送り手・受け手・世間の 「三方よし」を多面的な視野で拡充

先般リリースした「Fans」が、既存の音楽配信サービスと根本的に違うのは、アーティスト自らがダイレクトにユーザーへ音楽を届けることができるプラットフォームであるという点です。2015年に見られた事象を鑑みても、新しい流通構造における、コア消費の部分に担う重要なパーツの1つとして、引き続き強化すべきであると自信を深めています。

一方でインターネットラジオ「FaRao」や総合店舗ソリューション「FaRao PRO」

代表取締役社長

平澤 創



をはじめとする、音楽との新たな出会いを生む「街鳴り」や「ながら音楽」といった領域への新たな種蒔きも含め、リスナー行動のすべてをワンストップで循環させるポートフォリオの拡充もさらに必要になってくると考えています。ジグソーパズルのパーツを埋めていくような地道な作業にはなりますが、ユーザー視点で徹底的に物事を見て、経路を埋めるのに必要なパーツを丁寧かつ着実に埋める作業をしていきます。

また、トップアーティストを生み出す構造変化に対する取り組みも同時進行させており、送り手・受け手・世間の「三方よし」となる新しいビジネスモデルを確立することを重視していきます。

日本コロムビア再生、第一章の幕開けへグループ経営の連携も強化

当期に発動した、日本コロムビア再生

に向けたプランは順調に進捗し、上期は黒字転換のV字回復となり、再生プラン序章としては、よいスタートとなりました。しかしながら、市場が縮小している中で、幸いトップラインが維持でき、固定費低減により利益が出たというV字転換にすぎず、トップラインの持続的伸びなくして本当の再生と言えません。従来の産業構造によるマーケット縮小が続く中で、ここから先、いかにして次のステップへと進んでいくかが重要であり、グループの総力を上げて本質的な再生プランに着手していきたいと考えています。

また、グループ経営を意識した連携強化、グループ新卒採用もスタートさせています。同時に一斉エントリーが可能な就活サービスの利用をやめたことで、フェイス・グループに対して、そして「音楽」に対する思い入れの強い面白いメンバーが集まることとなり、非常に楽しみな状

況になっています。

100年後を見越して、愛される音楽を残す仕組みを作る

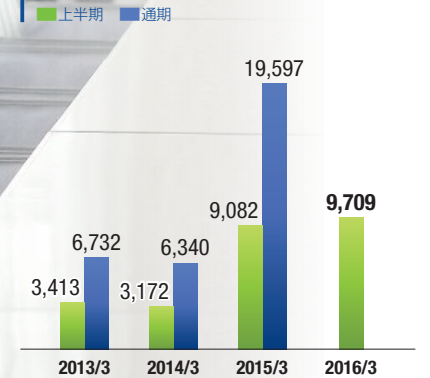
産業構造、価値観が大きく変わろうとする中で、従来のものの考え方が通用しなくなる時代になりつつありますが、すべてが一気に変わるわけではありません。産業革命によって自動車や機関車が発明されても、道路や線路が整備されている間も依然、馬車が走っているようなものです。今はまさにそうした移行の時期であり、現在の音楽産業のあり方と新しいプラットフォームの普及がクロスし、逆転する時は必ず来ます。100年後を見越

して、世界の人たちに愛されるような音楽をいかに残していくか、この視点が非常に重要です。

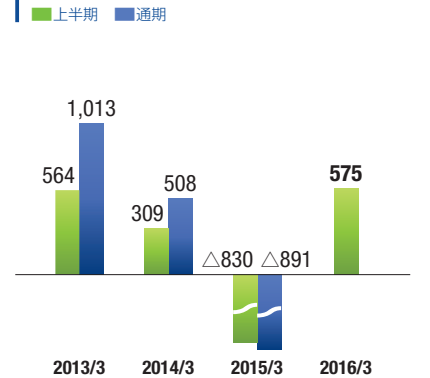
この下期は、海外展開に対する挑戦をより精度高く検討していくとともに、これまで仕立ててきた取り組みのブラッシュアップを図るほか、より「音楽」にフォーカスした、さらなる仕掛けの準備も粛々と進めていきます。そして新たな成長に向けてのスタート地点に立った日本コロムビアでは、グループシナジーを生かす取り組みに果敢に挑戦していきます。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援のほどよろしくお願いたします。

現在の音楽産業と新たなプラットフォームの立場は必ず逆転する

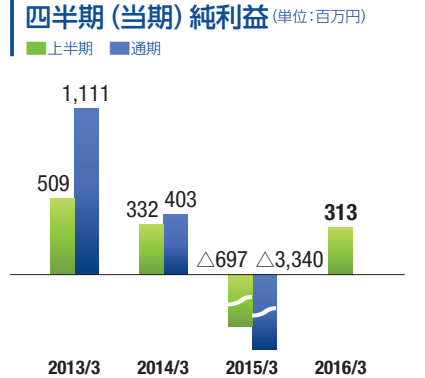
連結売上高 (単位:百万円)



連結営業利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



対談企画「日本コロムビアの挑戦」

新生 日本コロムビアが始動 フェイスとともに新たな日本初・世界初を創り出す

2014年3月、株式会社フェイスが連結子会社化した日本コロムビア株式会社。
日本コロムビアの会長でもある平澤と2015年4月に社長に就任した吉田真市との対談を通じ、
両者の日本コロムビアへの想い、そして求められる社長像を聞く。



日本コロムビアとは？

100年以上にわたる歴史をもつ日本最初のレコード会社として今まで多くの日本初・世界初を生み出してきました。

- 1910年 (株)日本蓄音器商会として発足
日本初「ニッポノホン」蓄音器4機種を発売
- 1951年 日本初のLPLレコードを発売
- 1953年 日本初のLP録音機用カッターヘッドを開発
- 1971年 世界初のデジタル録音によるLPを発売
- 1972年 世界初のPCM録音レコードを発売
- 1978年 米国初の可搬型PCMデジタル録音機を開発
- 1979年 録音技術に革新をもたらしたB&Kマイクを共同開発
- 1982年 CDとCDプレーヤーを世界に先駆けて発売
- 2005年 レコード会社初、携帯3キャリアで「モバイルコロムビア」を開始

共鳴するDNA。同じものを持たないが故の化学反応

平澤：日本コロムビアは、日本初のレコード会社であり、100年を超える歴史には、数多くの日本初・世界初の偉業が残されている。こうした企業文化を持つ会社というのは意外と少なく、会社のDNAとしてフェイスに非常に近いものを感じたことが子会社化へ歩を進めた大きな決め手です。

吉田：新しいプラットフォームを創り、広げていく中で、その上にどのようなコンテンツを乗せるのか。これが非常に重要なポイントであり、まさに日本コロムビアが保有している音楽資産アーカイブがフェイス・グループにとっても貴重だった、ということですね。

平澤：アーカイブというのは、イコール歴史。幅広い世代の日本人が必要としているコンテンツアーカイブを持っていることは、歴史のある日本コロムビアだから

こそその強みです。

吉田：もちろん、シナジーへの期待もあります。一言でシナジーと言っても、視点は2つあって、1つ目は同じ強みを持つ同士が重なることで、より強くなるシナジー。そして、2つ目はまったく違うものを持っているからこそ、逆に言えば、同じものをまったく持っていないからこそ、化学反応が起きて新たなものが生まれるシナジー。

平澤：僕らはまさに後者です。しかも、コンテンツ制作と配信プラットフォームの両方を持っている極めて珍しいタイプだと思います。

吉田：ただ、その両方があるからといって、自然にシナジーが生まれるというわけではないですよ。

平澤：新たなことへ挑戦し、「日本初・世界初」を創り出す意識が不可欠。今後、日本コロムビアがフェイスと一緒に挑むためには、まず失いつつある「日本初・世界初」という“誇り”を再認識す

日本コロムビア株式会社
代表取締役社長

吉田 真市

フェイス・グループ代表
株式会社フェイス
代表取締役社長
日本コロムビア株式会社
会長

平澤 創

る必要がある。

吉田：日本コロムビアをグループ化した際の、社員へ向けた第一声がそれでしたね。

平澤：日本コロムビアが創った世界初のデジタル録音機は、音楽記録媒体として新しいデジタル保管方法の先駆けだった。歴史に残るすごいことを生み出したんです。みんな、そのすごさをわかっているのかな。
吉田：「数々の世界初、日本初を作ってきた会社なのに、君たちは悔しくないのか！」と。その言葉は、社員たちにしっかり響いています。やってやるぞという気概のようなものも表に出始めてきています。いままさに変革が起こり始めている、そういった雰囲気をも感じています。

既存の価値と新たな可能性の両輪を追求

平澤：自分の音楽を世界に発信しようとする場合、昔ならレコード会社に売り込



んだり、テレビに出演したりと、いわゆる大資本に取り入れる必要があった。だけど、今は誰でも簡単に音楽を発信できるし、誰でも聴くことができる。これはつまり、送り手と受け手の距離が近くなってきているんじゃないかと思います。

吉田：基本的な考え方として、これまでのヒットというのは、CDの販売枚数やダウンロード数に基づいていたけど今は価値観が変わって、それだけでは足りなくなっています。ただ、現時点でダウンロード数がゼロになったわけでも、CDがなくなったわけでもないから、やめる必要はないんですよ。

平澤：既存のものは守りつつ、将来に向かう新たな取り組みを進めていく必要があります。そのふたつは、シームレスに繋がっていくのかもしれないし、突然変異的に新たなものが生まれてくる可能性もある。その可能性をいかに発現できる体制を作れるのかが、日本コロムビアのこれからの課題です。吉田社長の挑戦に期待したいですね。

“臨機応変”な対応と求められる第三者の視点

平澤：そういえば、僕たちが出会ったのは何年前でしたっけ？

吉田：平澤社長が開催した「上場企業30代経営者の会」以来です。15年前くらいですね。しかも、一度離れたフェイス・グループにまた参画することになるとは。そういう意味ではご縁があると思え



ません。

平澤：そう考えると長い付き合いですね。もちろん、僕が吉田社長を推したのには、縁だけじゃなくちゃんとした理由があります。それは「臨機応変」であることです。
吉田：「臨機応変」なのは色々な業種を渡り歩いて来たからかもしれません。

平澤：しかも音楽とはまったく畑違いのところばかり。でもそこが良い。僕らが当然だと思っている常識に、客観性を持って「なぜ？」と思える。だからこそ「臨機応変」に対応することができる。そこは僕にはできないことです。

吉田：だから僕に音楽業界に染まったらダメだ、とおっしゃるんですね(笑)。

平澤：既存の音楽産業の価値観に飲み込まれてしまったら、可能性がそこでロックされてしまう。そうなると吉田社長が日本コロムビアの社長をする意味がない。



「進化」ではなく「改革」を目指し、絶えなき挑戦を

吉田: 従来の音楽産業にだけ偏ってもダメ、新しいところだけ見てもダメ。その両輪の可能性をバランスよくみないと、ということですね。

平澤: その通りです。それをできるのが吉田社長の最大の武器。それがとても重要で、当たり前のことを当たり前に見るだけでは、結局何も変えることはできない。新しい発想から物事を見ることができるといことが、これからは本当に大事になってきます。

音楽産業の次の100年を担う産業革命を起こす

平澤: 今のフェイス・グループに求められているのは、単なる進化ではなく、産業革命を起こすこと。音楽産業そのものが変わるほどの大きな変化の波が押し寄せ

ている中、僕らが革命的なことを起こせないと、音楽産業に次の100年はないかもしれない。

吉田: 日本コロムビアとしては、ビジネスの領域をどこに持つのか、どんな権利を持ってビジネスしていくのか、ということも考えながら、進んでいくことが必要になってきます。

平澤: その中で1番大事なことは、挑戦すること。守りに入った時点で終わり。

吉田: 挑戦し続け、新しいものを生み出し続ける。それが僕らフェイス・グループの存在価値です。

平澤: 力を合わせてシナジーの最大化を追求し、新たな価値を創り出していきたいでしょう。

最先端のおもてなしBGMサービス



FaRao PRO は、IoT (Internet of Everything) をベースに、店舗ニーズに応える様々なサービスを提供する「Smart Shop」プラットフォームです。



会社概要

(2015年9月30日現在)

株式会社フェイス

| | |
|-------|---------------------------------|
| 事業内容 | コンテンツ配信プラットフォームの開発およびビジネスモデルの構築 |
| 設立 | 1992年10月9日 |
| 資本金 | 32億1,800万円 |
| 上場取引所 | 東証1部 (証券コード4295) |
| 従業員数 | 146名 (連結363名) |

取締役および監査役

| | |
|-----------|-------|
| 代表取締役社長 | 平澤 創 |
| 取締役 | 矢崎 一臣 |
| 取締役 | 佐伯 次郎 |
| 取締役 | 佐伯 浩二 |
| 取締役 (非常勤) | 樋口 泰行 |
| 常勤監査役 | 土屋 文男 |
| 監査役 | 清水 章 |
| 監査役 | 菅谷 貴子 |

※ 樋口 泰行氏は社外取締役であります。
 ※ 清水 章氏および菅谷 貴子氏は社外監査役であります。

アドバイザー・ボードを構成する社外有識者

| | |
|--------------|--|
| 島田 精一 | 元住宅金融支援機構 理事長 / 日本ユニシス株式会社 特別顧問 スルガ銀行株式会社 社外監査役 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団 評議員 / 学校法人津田塾大学 理事長 国立大学法人千葉大学経営協議会 委員・学長選考委員 学校法人根津育英会 評議員 / 武蔵学園後援会 副会長 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 評議員 公益財団法人日伊協会 副会長 / 日本ヴェルディ協会 理事 / 東京二期会 理事 |
| 南部 靖之 堀 裕 | 株式会社パソナグループ 代表取締役グループ代表 堀総合法律事務所 代表弁護士 / 日本ローエイシア友好協会 常務理事 内閣府・公益認定等委員会 委員 / みずほグループ各社 監査役 在日ロイヤル・ダッチ・シェルグループ各社 監査役 国立大学法人千葉大学 理事・副学長、経営協議会 委員 サハリンLNGサービス株式会社 監査役 公益財団法人国連大学協力会 監事 公益財団法人沢沢栄一記念財団 理事 |
| 村瀬 清司 | 元社会保険庁 長官 / 企業年金連合会 理事長 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 非常勤顧問 |

フェイス・グループ

コンテンツをユーザーに届けるためのあらゆる機能を有し、ワンストップサービスとしてプラットフォーム化できる企業グループです。

フェイス

コンテンツ配信プラットフォームの開発およびビジネスモデルの構築

フューチャーレコーズ

アーティストに関わる著作物の企画制作・管理

エンターメディア

キャリア公式ファンサイトの構築・運用、ファンクラブの運営、indiesmusic.comの運営

ライツスケール

日本最初のiTunes公認アグリゲーター音楽配信ソリューションを提供



日本コロムビア

日本最初のレコード会社
ミュージックソフト等の制作、宣伝、出版管理

フェイス・ワンダワークス

日本最大の着信メロディサイト運営、映像制作、プロデュース/音楽、動画等の配信

オーケーライフ

日本最大級の音楽ソーシャルメディア「OKMusic」企画・運営等

グッディポイント

新たなポイントサービスの創造

※本文中に記載されている商品・サービス名は株式会社フェイスの日本またはその他の国における商標または登録商標です。